



第63回JA掛川市通常総代会を開催

農業と地域の未来をつむぐ『協同の力』

決議事項

第1号議案

第63期(令和6年3月1日から令和7年2月28日まで)事業報告及び剰余金処分案承認について

第2号議案

定款の一部変更について

第3号議案

役員選任細則の一部変更について

第4号議案

JA掛川市3か年計画～農業

と地域の未来をつむぐ“協同の力”の設定について～

第5号議案

第64期(令和7年3月1日から令和8年2月28日まで)事業計画の設定について

第6号議案

理事の報酬の決定について

第7号議案

監事の報酬の決定について

附帯決議案

第63回JA掛川市通常総代会が5月28日、掛川市生涯学習センターで開かれました。総代会には、総代499名のうち、419名(本人出席183名、書面決議236名)が出席。議事では、第63期事業報告及び剰余金処分案や第64期事業計画の設定など7議案が上程され、すべて原案通り可決承認されました。なお、剰余金処分のうち出資配当金は年1%、信用・購買事業を対象とした利用高配当は約1,450万円です。今月号では、総代会で上程された議案内容の一部をご紹介します。



議長を務めた山本和典さん(原谷)

令和6年度JA掛川市組合員表彰

農業の後継者表彰
農業の近代化を目指す、担い手となる優秀な後継者を表彰します。



松浦佳之
東山 茶

優良組合員表彰
農業、農村文化の振興に貢献し、成績優良な生産者を表彰します。



平井寿博
東山 茶



柴田佳寛
原 泉
酪農、水稻

厳しさ続く農業情勢 変化する環境への対応が課題に

2か年計画の最終年

さすが市は来店客数および販売額ともに順調に推移

2か年計画の2年目として、I持続可能な農業の実現に向けた生産基盤強化に取り組みます、IIJA運営の好循環に向けた組織基盤強化に取り組みます、III「不断の自己改革」の実践を支える経営基盤の確立・強化に取り組みま

す、の基本方針のもと、事業計画に沿って事業を進めました。

基幹作物の茶業では、生産指導と併せて、現在、協議を進めている掛川茶フェアトレードを取り入れた荒茶販売体制の実践と検証に取り組みました。また、全国茶品評会での5年連続産地賞受賞を踏まえ、関係機関と連携を図り、掛川茶の更なるブランド力向上と振興に努めました。

さすが市では、出荷登録者への野菜苗、種子供給や、JA問連携による店舗作りにより、来店客数および販売額ともに順調に増加しました。

第1号議案 第63期事業報告(抜粋)についてはこちらからご覧いただけます。

〈総代会資料〉



※共済の実績はポイントで表示しています。

貸借対照表

令和7年2月28日現在 (単位:千円)

資産の部	金額
信用事業資産	114,483,097
(現金)	586,068
(預金)	68,325,729
(有価証券)	9,850,818
(貸出金)	35,138,799
共済事業資産	11,228
経済事業資産	899,150
(受取手形)	60,212
(経済事業未収金)	503,210
(棚卸資産)	350,096
(貸倒引当金)	-32,279
雑資産	394,072
固定資産	3,974,139
外部出資	5,103,288
資産の部合計	124,903,580
負債及び純資産の部	金額
信用事業負債	115,634,474
(貯金)	114,592,432
(借入金)	129,286
共済事業負債	363,689
経済事業負債	263,790
(経済事業未払金)	263,741
雑負債	551,427
諸引当金	771,488
負債の部合計	117,584,870
出資金	795,165
利益剰余金	7,937,056
(うち当期剰余金)	30,647
その他有価証券評価差額金	-1,410,158
純資産の部合計	7,318,709
負債及び純資産の部合計	124,903,580

損益計算書

令和6年3月1日～令和7年2月28日 (単位:千円)

事業総利益	金額
(信用事業総利益)	1,951,393
(共済事業総利益)	536,990
(購買事業総利益)	379,165
(販売事業総利益)	159,961
(加工事業総利益)	158,793
(利用事業総利益)	15,592
(その他事業総利益)	11,686
(指導事業収支差額)	-33,768
事業管理費	1,937,578
(人件費)	1,379,786
事業利益	13,814
事業外収益	118,410
事業外費用	27,451
経常利益	104,773
特別利益	870
特別損失	65,866
税引前当期利益	39,777
法人税等合計	9,129
当期剰余金	30,647
当期首繰越剰余金	209,358
当期末処分剰余金	240,006

剰余金処分

(単位:円)

金 額	
当期末処分剰余金	240,006,390
剰余金処分額	36,668,658
（利益準備金）	9,280,000
（任意積立金）	5,000,000
（出資配当金）	7,803,478
（利用高配当金）	14,585,180
次期繰越剰余金	203,337,732

自己資本比率

自己資本比率

17.35%

利益準備金や積立金等の内部留保に努めてきた結果、17.35%と早期是正措置の基準である4%を大きく上回っています。



新時代に対応した総合事業を展開

令和7年度は、3か年計画「く農業と地域の未来をつむぐ。協同の力く」の1年目となります。環境変化への対応や組合員との関係強化に向けた「生産基盤」「経営基盤」「組織基盤」の3つの観点からの取り組みにより、農業の生産拡大、経営環境に対応した事業・経営の強化に努めます。

茶

茶市場	
前年度実績	1,262,088千円
本年度計画	1,250,000千円
緑茶加工	
前年度実績	556,556千円
本年度計画	545,000千円

良質茶の生産から販売まで一体化した生産指導及び販売により、所得向上に努めます。

関係機関と連携強化を図り、掛川茶のブランド力向上と掛川茶振興に努めます。

営農・販売

一般	
前年度実績	877,919千円
本年度計画	906,000千円
畜産	
前年度実績	487,590千円
本年度計画	472,000千円
ささが市	
前年度実績	927,498千円
本年度計画	958,000千円

を基本として「不断の自己改革」に取り組むことで、組合員や地域の人々から信頼され地域になくならないJAづくりに努めます。

となり、新たな販路拡大に向けた販売機能の強化や産地力の向上に取り組めます。組合員の期待に応える営農指導の強化に向け、職員の資質向上を図り、効果的な営農相談体制を構築します。

組織活動・

組合員支援

生産拡大を担う担い手の育成と農地集積により、効率的な経営を進めます。また、組合員や地域住民との絆を深め、地域の特色を活かした農業振興に取り組みます。

購買

生産資材	
前年度実績	1,729,946千円
本年度計画	1,576,000千円
生活資材	
前年度実績	743,083千円
本年度計画	769,000千円

地域の特性を活かし、産地の維持・拡大

監査

不祥事未然防止の強化と「リスク管理の3線防御体制」を構築するため、内部監査

に向けた生産基盤の強化を図り、農業振興、担い手育成、農家組合員支援により、農家の所得の向上に繋げていきます。また、5JA事業連携協議会により、生産資材を中心にコスト低減に向けた共通の取組事項を検討・実施し、円滑な購買事業運営を目指します。

信用

貯金	
前年度実績	114,592,432千円
本年度計画	115,000,000千円
貸出金	
前年度実績	35,138,799千円
本年度計画	35,700,000千円

「農業・地域のファーストコールバンクへ」選ばれ必要とされ続けるJAの実現く」を長期的な目指す姿として掲げ、農業、地域振興における金融仲介機能を発揮し、ライフスタイルが多様化するなかで組合員・利用者のニーズに合った事業・サービスの提供により組合員・地域に選ばれ、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けた事業展開に努めます。

共済

前年度実績	6,974,677ポイント
本年度計画	6,750,000ポイント

「組合員・利用者とともに歩み続けるJA共済く協同の力で広げる安心の輪く」を基本方針とし、組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供を心掛けていきます。

また、契約者フォロー活動を継続的に取り組むとともに、責任世代や若年層への積極的なアプローチを図ることで、「安心」と「満足」を提供し、組合員や地域の保障充足を強化していきます。

総務

業務運営体制の見直しや組合員・利用者の相談に対応できる人材育成を進めます。また、持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との対話を通じ、総合事業



緊密な連携、積極的な情報交換を行い、監査人としての正当な注意をもって、効率的で有効な監査を実施するよう努めます。

JA掛川市 3か年計画

～農業と地域の未来をつむぐ“協同の力”～

令和7年度
令和9年度

経営理念

JA掛川市は組合員とともに、協同組合運動の強化に取り組み、協同の力のもと、安心と信頼ある事業や活動を展開し、未来につながる元気な農業、豊かな地域づくりを目指します。

基本目標

環境変化への対応、組合員との関係強化に向けて、「生産基盤」「経営基盤」「組織基盤」の3つの観点で重点取組を定め、農業の生産拡大、持続可能な社会実現に貢献します。

- 産地の維持・拡大に向けた生産基盤の強化
- JA運営を支える組織基盤の強化
- 事業環境の変化に対応する経営基盤の構築

農協が果たすべき役割

JA掛川市 不断の自己改革 Report

平成28年度より、組合員との対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。令和4年度からは、農業者の所得増大に取り組むほか、経営基盤強化や組合員との対話・意思反映をすすめ、さらなる進化を目指します。

農業者の所得増大・農業生産の拡大



重点目標	碾茶生産向け優良品種への改植面積の拡大
令和6年度実績	0a
令和7年度目標	100a

国の改植支援事業に併せて、優良品種を提案していきます。



重点目標	主力品目イチゴの取扱高の拡大
令和6年度実績	4億6,944万円
令和7年度目標	4億8,000万円

新規就農者の受入、独立支援を行い、生産者数の増加に取り組んでいます。



重点目標	掛川和栗の新規取り組み面積の拡大
令和6年度実績	180a
令和7年度目標	480a

一般社団法人和栗協議会と栗部会の連携により、栗栽培の推進強化を図り、面積の拡大に努めています。



重点目標	ささが市取扱高の拡大
令和6年度実績	9億2,749万円
令和7年度目標	9億5,800万円

出荷者数の増加や出荷品目の拡大に努め、豊富な地元農産物の販売に取り組んでいます。出荷登録者への野菜苗・種子を供給し、推進作物の生産拡大を行っています。